

外部評価者会議（外部有識者の意見）

1. 評価できる点

（企業等）

- 学生は元気が良く、社交的であり、ディプロマポリシーが実現されている。
- 地元志向を希望する学生が多いことは、地元での採用・勤務を基本とする企業と考え方が一致している。
- 大学がどういった目的を持って学生を育てているかが、よく理解できた。
- 教えたことを実践する素直さを持っている卒業生が多い。
- 会社・先輩などと合わないという理由で辞めた人はいない。
- 四天王寺福祉事業団では、多くの卒業生が役職者として活躍している。

（教育庁・教育委員会）

- 2年生のインターンシップは、現場での教育力を身につけ、子供達や先生とも繋がることができおり、非常に良い。
- 教育力を身に付けた3年生が教育実習に来てくれるのは、現場でも助かった。
- 学生が行儀よく、和やかである。
- 学生の受け応えが出来ており、言葉遣いも丁寧で建学の精神が学生に浸透している。
- インターンシップ等で早い段階から現場にでることは良い。

（市役所）

- 四天王寺大学と包括協定を提携しており、最近では学習支援事業で学生がサポートしてくれている。
- 卒業生が建学の精神（和の精神）や優しさを感じ、大学が学生のことを考えて、仕事に取り組んでいることがわかる。
- 四天王寺大学を地域の重要な機関として捉えている。
- 就職先としてだけでなく、同じ地域にあることから市との賑わい作りを連携していきたい。
- 国際キャリア学科では、英語で世界遺産を取り上げてもらっている。

（高等学校）

- 高大連携では、卒業生が訪問してくれることで、生徒は身近な存在として楽しんでいる。
- 充実した大学として生徒に浸透している。
- 在学生在が明るく、キャンパスライフを楽しんでいる様子がうかがえる。
- 卒業生を含む保育科の学生が訪問し、大学の様子を報告に来てくれた。

2. 改善への助言・意見

(企業等)

- 社員研修では、社会人としての一般的な知識等も教えているが、大学のキャリア教育で、一般的社会常識などを十分に取り組んでほしい。
- 課題解決力が足りない。教えるスキルや内容だけではなく、もっと実学に向けての指導もしてほしい。
- 資格取得に関しては、学生たちがやらされている感がある。
- 現在の就活では、周りへの思いやりや目標があり、困難があっても乗り越えられる人などが求められている。
- 大学在学中に、成功体験だけではなく、失敗体験も積んできてほしい。
- 失敗体験を恐れて戸惑う学生がいる。また、実習でつまずき、保育職を諦める人もおり、メンタルで打たれ弱い人もいる。
- 就職先の方針をしっかりと見極めてミスマッチをなくすようなキャリア指導、情報収集が望ましい。
- 卒業後にも大学としてフォローアップできるようなシステムがあれば良い。
- 実習等で大学と連携をしているが、離職対策にも取り組んでほしい。

(教育庁・教育委員会)

- 基礎学力が低く、読めない漢字があるなど教養が不足している。
- 働いてからも自ら教養を身につけていくことの大切さを教えてほしい。
- 保護者との向き合い方を大学教育に取り入れてほしい。
- インターンシップや教育実習先はしっかりと確保してほしい。
- 実習に来る学生の知識や能力をしっかりと担保してほしい。
- 世の中の変化に柔軟に対応できる人が必要であり、最初の対応を大切することなどとあわせて教えてほしい。

(市役所)

- 社会に出た時に弾力性のある強さや、優しさのある職員がいれば良い。